

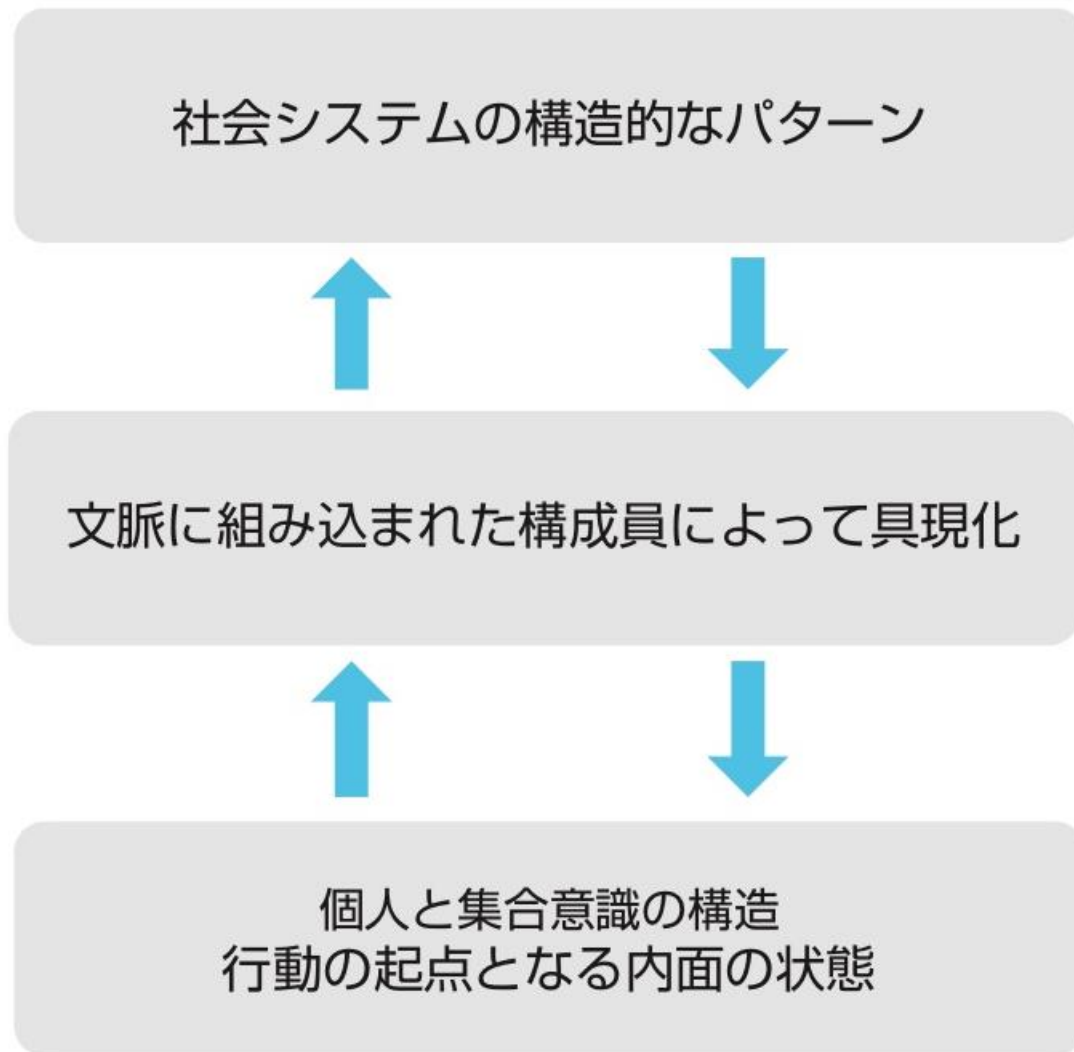
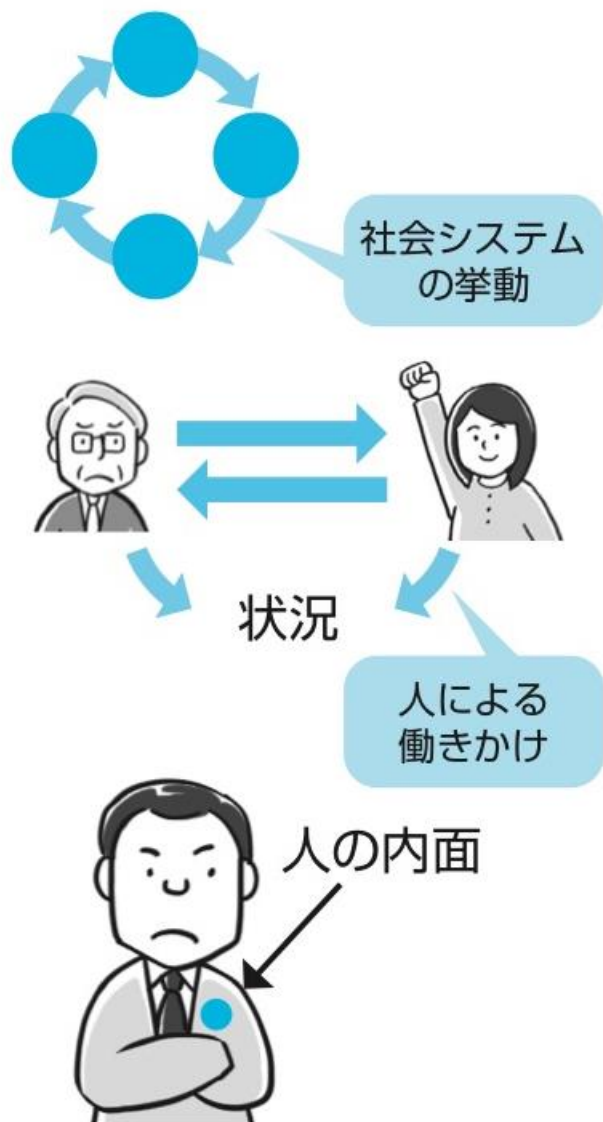


AUTHENTIC
WORKS

U理論の基本と実践がよ〜くわかる本
特典動画 第5回
「組織開発におけるU理論の重要性」

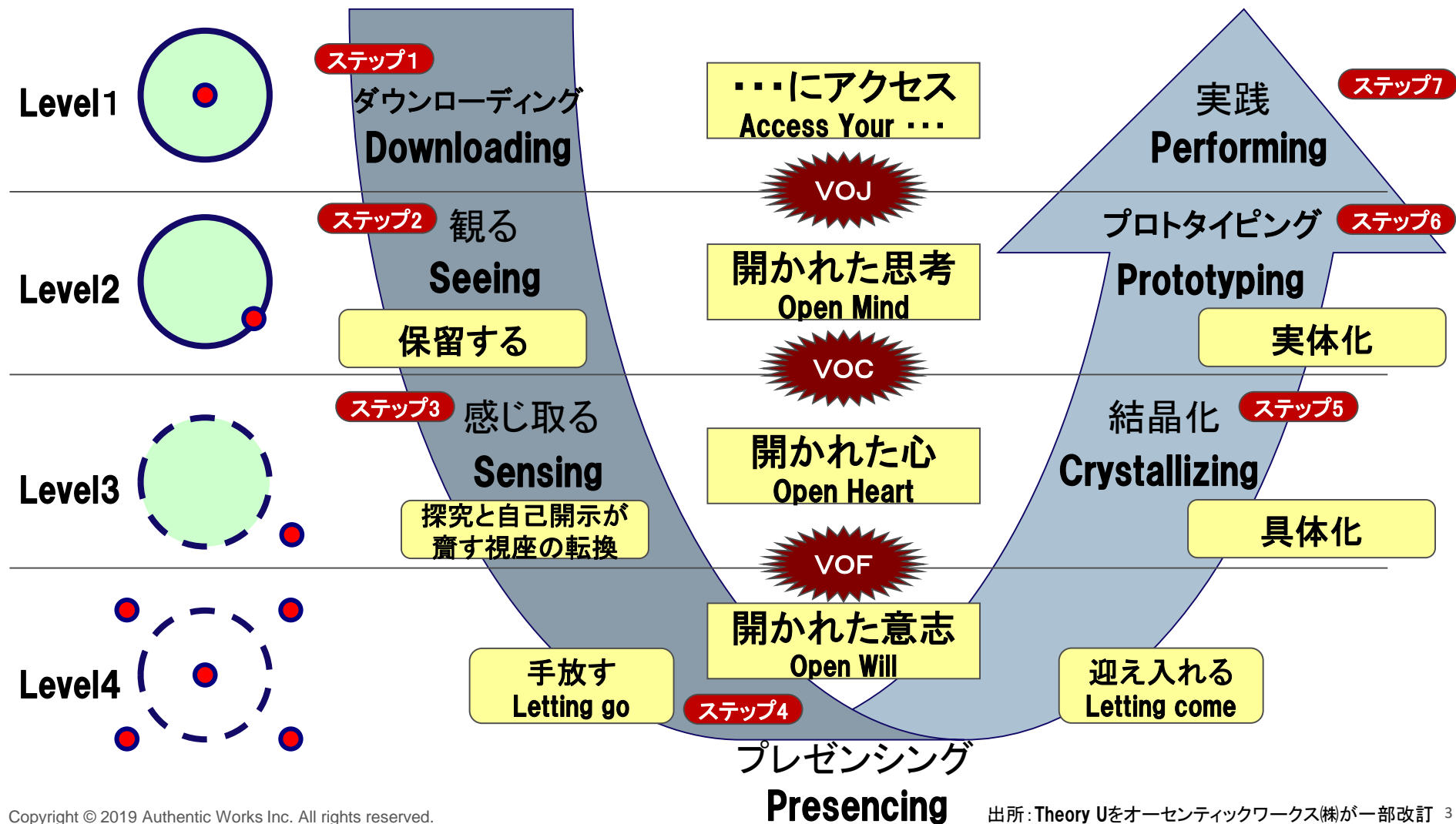
オーセンティックワークス株式会社

2-7 社会的な現実を生み出す3つの層



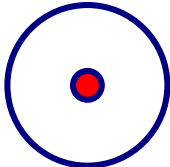
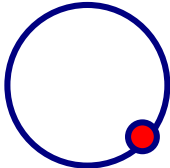
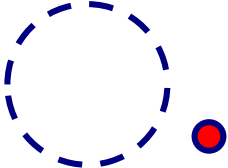
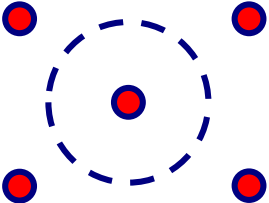
U理論の7つのステップ

3-1 Uプロセスの全体像



意識領域/ソーシャル・フィールドの違い

2-8 行動に影響を与える4つの意識領域

意識領域/ソーシャル・フィールド		『私』の感覚	自己の存在形態	他者との関わり	意識の矛先の向けられ方
レベル1 (ダウンローディング)		I-in-Me	習慣的な自己 (Habitual Self)	順応 (Conforming)	自分の中に存在している過去の枠組みの刺激による反応的な思考や感情に意識の矛先が向けられており、それらを自己同一視している
レベル2 (観る)		I-in-It	理性的な自己 (Rational Self)	対峙・対立 (Confronting)	目の前で対峙している対象に意識の矛先が向けられており、それに自己同一視している。自己同一視が深ければ深いほど、対象への刺激が自分への影響のように実感する
レベル3 (感じ取る)		I-in-You	関係の中に生きる自己 (Relational Self)	つながり (Connecting)	システムの一部として視点が移行し、システムの側から自分が見えるようになり、より大きなシステムを自分として感じられるようになる
レベル4 (プレゼンシング)		I-in-Now	真正の自己 (Authentic Self)	集合的創造 (Collective Creativity)	出現する未来そのものとなり、時間と空間を超えた、「今、ここ」にある存在そのものとなる